

3/5 生涯学習課自主事業
「水森かおりコンサート」を開催しました



▲ご当地ソングの女王・水森かおりとご当地キャラクター・なーしくん

ご当地ソングの女王の愛称で親しまれている人気演歌歌手の水森かおりコンサートが、御荘文化センターで開催されました。公演は昼と夜の2回行われ、多くの方が来場しました。

昨年末に行われたNHK紅白歌合戦で歌った『九十九里浜』や新曲『日向岬』を含め全21曲が披露されるなど、見応え満載のステージに訪れた観客は、心揺さぶられる歌声に聞き惚れていました。

コンサートの終わりには、観客席から上がる大きな拍手と歓声に会場が包まれました。

3/11 防災意識の高揚と地域防災力の向上を目指し
令和4年度城の辺防災・減災教室



愛媛
CATV
動画



▲避難完了を周囲に知らせる『ひなんOKカード』。地域全体のスピーディーな避難が期待される

城の辺学習館では、城辺小学校5年生の児童会役員も参加し、地域の方々と一緒に学び情報共有をすることで、有事の際の協力体制を構築できるよう、防災・減災教室を平成29年から実施しています。

この日、城辺小児童会役員3人による『ひなんOKカード』に関する取り組み発表が行われ、防災教育を通して自分たちが暮らす地域を深く理解し、災害に備える中で人を思う気持ちが育まれている児童たちの姿には参加者から拍手が送られました。発表を終えた児童たちは、「災害が発生した際にはそれぞれの家庭でひなんOKカードを活用してほしい」、「防災について学校のみならずみんなで考える機会をこれからも多く持ちたい」と話しました。

3/11 心から 慰霊と復興 火を灯し
福浦自主防災会によるランタン点灯



愛媛
CATV
動画



▲全てのランタンに火を灯し終わると、広場全体が神秘的な雰囲気包まれた

東日本大震災で犠牲になった方々の慰霊と被災地の復興を祈るため、福浦公民館近くの相撲場広場で福浦小学校児童や地元住民が作成したランタンやキャンドルの点灯が行われました。

この取り組みは東日本大震災を風化させないために、福浦自主防災会が行っているもので、3回目となる今年は『家族と一緒に過ごす』をテーマに行いました。児童は家族と一緒に絵付けをしたランタンに一つ一つ火を灯し、優しい光に見入っていました。

福浦自主防災会の方々は「当たり前で生活できていることが、災害が起こるとそうではなくなる。この取り組みを、日々当たり前で過ごしていることに感謝するきっかけにして欲しい」と話しました。

3/14 農園地と教室を中継で結ぶ オンライン柑橘授業を実施しました



愛媛
CATV
動画



▲オンライン授業で柑橘農業について学ぶ児童たち

食育事業の一環として、町農業支援センターが毎年実施する柑橘授業が、平城小学校で行われました。

授業は、緑地区の吉田農園代表取締役吉田浩さんと中継をつないで栽培について学ぶオンライン授業、柑橘についての基礎知識を学ぶ柑橘クイズ、12種類の柑橘を見て食べて違いを学ぶ授業の3部構成で、実施されました。

児童たちからは、「みかんを育ててみたいと思った」「知らないみかんをたくさん勉強できた」「みかんがもっと好きになった」といった声があり、柑橘について興味や関心を持つ貴重な機会となりました。

3/17-23 春の訪れとともに、門出の日 町内各小中学校で卒業式



愛媛
CATV
動画
(中学校)



愛媛
CATV
動画
(小学校)



▲在校生や教職員、保護者からの温かな拍手の中、引き締まった面持ちで学び舎から巣立つ卒業生

3月17日、町内各中学校で、3月23日は各小学校で、それぞれ卒業式が行われました。中学校116人、小学校121人の児童生徒が、新たな門出を迎えました。

6人の生徒がマスクを外し、式典に臨んだ内海中学校では、卒業生代表の伊勢小葉さんが「当たり前前の生活が当たり前ではなくなったことを思い知らされた中学校生活のスタート。不安な思いを支えてくれた先輩方やクラスメートの笑顔があったからこそ、制限のある中でも楽しく学校生活を送ることができました。3年間支えてくれて、応援してくれてありがとう」と学校生活に関わってくれた全ての人へ感謝の思いを述べました。

3/25 水産業の未来について考える 第13回愛南町水産フォーラムが開催されました



愛媛
CATV
動画



▲代表理事岩田功次さんの講演を聞く出席者一同

『持続可能な水産業をめざして～漁場環境を守るための事業展開～』のテーマのもと、第13回愛南町水産フォーラムが御荘文化センターで開催されました。

町が現在取り組んでいるブルーカーボンやICTブイの導入、今後の目標である愛南町SDGs水産環境未来都市構想について、水産課職員が報告と説明を行いました。

また、御荘湾内に漂着している廃プラスチックを回収した八幡浜市の一般社団法人E.Cオーシャンズ代表理事岩田功次さんを講師に迎え、『宇和海の環境問題を考える』というテーマで講演が行われました。来年度以降も御荘湾内の立入困難場所のごみ回収を続けていくことを、漁協や関係者と共有しました。